



卓 話

社会教育的側面の強化を狙ってはじめてられました。今年度の実績実績は、中学生約600名、高校生700名程の実績でした。第2580地区のHPに掲載されている各クラブの受入れ会員の企業の中で当四谷クラブも数社協力をしています。更なる参加をお願い致します。

受入れの段取りとしては、クラブ事務局へ学校から連絡が行き、各事業者へ問い合わせをする。また、HPを見て学校が直接、企業に問い合わせるというルートがあります。どちらにしても、企業の担当者に受け答えが出来るようにご指示、ご用意をお願い致します。

四谷から出向する来年度の地区委員は酒井会員です。今後とも、ご協力を宜しくお願い致します。

地区委員会報告

鯉江会員・篠田会員・向山会員

☆篠田会員

「Web広報委員会報告」

元々、ウェブ広報委員会は多摩地区にWeb会議システムを導入する為に発足しました。しかし、予算不足の為にWeb会議システムの導入は断念し、地区のHPの有効利用をテーマに運営をしております。本年度の地区広報委員長が分区幹事となり、多忙につき私がウェブ広報委員長を引き継ぐ事になりました。



地区のHP構築及び使用における、現状の課題は二つあります。一つは各クラブの情報を掲載したくても、依頼した情報の提出率が悪いことです。もう一つは、実際のアクセスが少ないことです。次年度のウェブ広報委員はこれらの問題の解決を目指します。

解決案ですが、先ず各クラブに呼びかけ広報委員長の会議を開き地区HPの周知活動を展開します。これは次年度のクラブ奉仕委員長である伊藤様からの提言でもあります。また、HPの利用を促進する為にプログラム委員会の補助的な役割として、卓話者一覧を作りクラブ活動に有効な情報を提供したいと思っています。本来広報委員会は、他の委員会の補助的な位置付けですので、本分を忘れず活動を進めて行く所存です。

将来的には、ロータリーに必要な帳票類をダウンロード出来る様にしたり、外部に対しての宣伝的な役割を担えればと思いますが、本年度では手数も予算も足りませんので、来期への提言としてまとめたいと考えています。

☆向山会員

「青少年育成委員会報告」

足掛け4年地区の青少年育成委員会の活動をさせていただいています。主に、中学生に対する職場体験事業と高校生に対してのインターンシップ職業体験の2つの活動に注力してきました。

この事業はRCが文部省に働きかけ東京都知事にも面会し、子供たちの将来とより良い社会を形作る、人間形成の



☆鯉江会員

「世界社会奉仕委員会報告」

私が最初に地区委員に任命されたのは、2002-2003年・前川年度の世界社会奉仕委員でした。入会4年目で、ロータリーの組織についてはほとんど理解していませんでした。3年後、古宮年度に地区社会奉仕委員に任命されて、翌年の小澤年度と併せて2年間、地区内ロータリークラブの社会奉仕活動から青少年育成の大切さを学びました。

その後、2008-2009年櫻井年度の国際奉仕室の副室長、今年度、世界社会奉仕委員長を努め、次年度は国際奉仕委員長となります。ロータリーは四大奉仕を基本とした組織ですので、国際奉仕委員会は大きな役割を持つこととなります。特に海外との文化・価値観のずれの違いを越えて、世界平和に貢献するプロジェクトを抱えていますので、役を承諾した限り手抜きは出来ません。お陰様で、今までの地区委員会での委員長はじめ委員達からは、沢山のことを学びました。いつもいいメンバーに恵まれているので、委員長になってもプレッシャーはなく、むしろ委員会がどのようなアクティブになるかワクワクしています。

入会以来「ロータリーにNOはない。来る物拒むな！」の言葉に従って、WCS委員会以外にも多くのお手伝いをしています。依頼が来るのはいいことだと考えています。しかし、いつも思うことは、クラブにおいての活動を第1に考えて一生懸命する、そして地区委員会活動によって、この四谷クラブにメリットが巡って来ることが理想です。「情けは人のためならず」ボランティアの結果は巡り巡って来るのです。ロータリーの第2標語「One (He) profits most who serves best」を私は信じています。

では、地区委員会の役割を簡単に説明します。手続き要



覧には、「地区とは、管理の便宜上結びつけられた、一定の地理的な地域内にあるロータリークラブのグループである。ロータリー地区の活動並びにその組織は、個々のロータリークラブがロータリーの綱領を推進するのを助けることを唯一の目的とするものである。」とあります。つまり、クラブがロータリーの綱領を推進するのを助ける立場にあるのです。国際奉仕は綱領の第4番目、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を促進すること」です。それをクラブが可能になるようにお手伝いする役目です。先般のPETSでは、地区国際奉仕委員会の役割を「ハンバーグのつなぎのようなもの」と表現しました。お肉は各クラブです。そのうまみを引き出すために、「絶妙なつなぎ」であることが大切なのです。その後、地区委員から「お肉でないといやだ〜」とジョークをいわれ「和牛かオージービーフか？」など和気藹々に会話を楽しみました。

私はロータリー活動には、次の2点が大切だと思います。1つは、ルールと組織を知ること。学校でいえば生徒手帳にあたるものが「手続き要覧」と「ロータリー章典」、クラブにおいては「クラブ細則」です。ルールと目的を共有するからこそロータリアンは同じ土俵で活動ができるのです。2つめは、「好意と友情と寛容の精神」をもつこと。世界平和に寄与するロータリアンには、なくてはならない心です。ロータリーは人間関係、特にプロジェクトに関わる姿勢から信頼関係が生まれます。私にとってロータリークラブは「大人の部活」です。地区の委員会は「生徒会」みたいなものです。どちらも、夢を語り合い、意見を闘わせ、時には睡眠を削らなければならない程の仕事量が課せられますが、達成感を分かち合えるので苦ではありません。人と人がお互い関心と感動を共にすることで元気になります。先日の地区協議会でも、出席義務ではない委員が自主的に手伝いに来てくれました。今後も地区委員会を楽しい部活のようなスペースにしたいと願っています。

地区委員会の業務は委員会によって様々です。また委員長は委員とは別に行なわなければならないことがあります。委員会方針の策定、委員会開催、情報の発信と受信などで、具体的には分区WCSセミナーの開催・地区内クラブのWCS活動アンケートの数値化・活動を行っているクラブの方法を全クラブに紹介・RIコーディネーターからの世界の情報をクラブに配信する・クラブ間のリソースを合流させる・財源についての相談に応じる・・・などです。また、未来の夢計画パイロット地区となったために、世界から要請が来ます。先般はインドムンバイの3140地区とやりとりをして、活動計画と金額について可能かどうかを財団に任せ東京ロータリークラブが検討中です。委員会への出席も多く、昨年7月から今年4月まで10ヶ月間の地区委員会関係の会合は50回ありました。クラブ訪問は70クラブ中46ク

ラブです。忙しかったけれど、私にとって大きな財産となりました。

2月には、新宿中学校で「世界理解・生きる」というテーマで、体育館で講演をしました。生きるために学校に行かず働いているラオス・タイ・カンボジアの子どもたちの写真を見せました。「人間は自分と同じなら受け入れるのに、何故違うと受け入れないのだろうか」と問いかけをし、話し合ってもらいました。いじめの構造もここにあるからです。その後、生徒全員の感想文が送られてきました。子どもの感受性の豊かさと問題意識の深さに感動しました。私のようになりたいという子どももいました。

先週は四谷中学に出向き、青少年交換留学生の募集要項について説明しました。四谷中学は留学を希望している子どもが多いとのこと。この四谷から、世界に羽ばたく子どもを出したいと思っています。RIは青少年に対してのプログラムを拡大しています。私は今後も、ロータリーの綱領の第4番目、「国際間の理解と親善と平和の促進」、そしてライフワークである青少年育成とのコラボレーションを行っていききたいのです。

3年に1回開かれるロータリーの国会ともいえる規定審議会が4月25日～30日に開催されました。世界の地区大会で決議された案件を審議する会議です。当地区からは戸田PDGがシカゴに行かれたので、6月3日の報告会で詳細が聞けると思います。クラブをサポートする地区委員会はこの審議を知る義務があります。219の案件中で、ロータリーが大きく変化することを示唆する決議がいくつかありました。例えば、1927年から83年間、四大奉仕がロータリーの根幹でしたが、それに従来の「青少年奉仕」を加え、名前を「新世代奉仕」とし、第5奉仕部門にする。というのは、最も大きな決議だと思います。国際奉仕関連では、RIと財団の人道的プログラムに地雷救済活動を含めると、被災地に救援物資を送るための研究開始などが採択され、青少年交換プログラムの縮小とWCS委員会活動の補助金対象に小学校などの建築を含めるは否決されました。未来の夢計画パイロット地区に選ばれた当地区は、次年度から試験的に新システムが導入されます。今はRIが大きく変革していく過渡期であることに間違いありません。

さて、次年度国際奉仕委員会は、ロータリーの奉仕活動が他のNGO、NPOとどこが違うのだろうか、ここが一番のポイントですので、クラブにそこを考えてもらおうと伝えました。

ロータリーは、法人会でも商工会議所でもJCでもない、ましてや会長のプライベートコミュニティでもないのです。ロータリークラブの大きな変革の今、それを考える必要があると思います。7月に開催される国際奉仕委員会で行なわれるクラブの発表を期待しています。